



環境にやさしい貸し電気自動車サービス Autolib' (オートリブ) スタート!

パリ事務所

1. はじめに

2011 年 12 月 5 日、パリ市を含むイル・ド・フランス州内の 46 の自治体で、新たな貸し電気自動車サービス「Autolib' (オートリブ)」¹が正式にスタートしました。

2007 年にサービスを開始した貸し自転車システム「Vélib' (ヴェリブ)」²の成功を受け、パリ市のドラノエ市長が進める都市交通政策下でのこの新しい取組みは、好きなステーションで車両を借り、どこでも好きなステーションで返却することが出来るというサービス。使用する車は、排気ゼロ、騒音ゼロと環境負荷ゼロをうたうリチウム・メタルポリマー電池で稼働する 100%電気自動車「Bluecar (ブルーカー)」。「Bluecar」は、このサービスの提供に参画する自治体で構成する事務組合から運営委託を受けた、ボロレグループ (Le groupe Bolloré)³が開発した自信作です。

10 月からの 2 か月間の試行期間を経て始まったこのサービスを、早速紹介したいと思います。

2. サービス導入のねらい



式典であいさつをするドラノエ・パリ市長 (左側)

サービス開始当日にパリ市役所からほど近い場所以で行われた開始式典で、ドラノエ市長は、「21 世紀の都市は、都市の住民に移動手段の自由な選択肢を提供する」ことこそが重要で、Autolib'はそのスローガンとして掲げる「空気のように自由」をまさに体現するものだとスピーチ。Autolib' にかかるドラノエ市長の意気込みと自信を感じさせました。

このサービスは、自家用車を持たない 58% のパリ市民に新たな交通手段を提供すること、

また、自家用車を所有する市民に対しては、自動車を個人で所有するものから共有するものとの認識への転換を図ることを主な目的として始めるもの。パリ市は、Bluecar 1 台を導入することによって 5 台の自家用車を減らすことが出来ると試算し、これによって、約 20,000 台分の自家用車の駐車場を減らせるのではないかと思います。

同時に、環境にやさしい交通手段の利用を促進することと、既存の都市交通サービスを補完する役割も Autolib'が担うとしています。

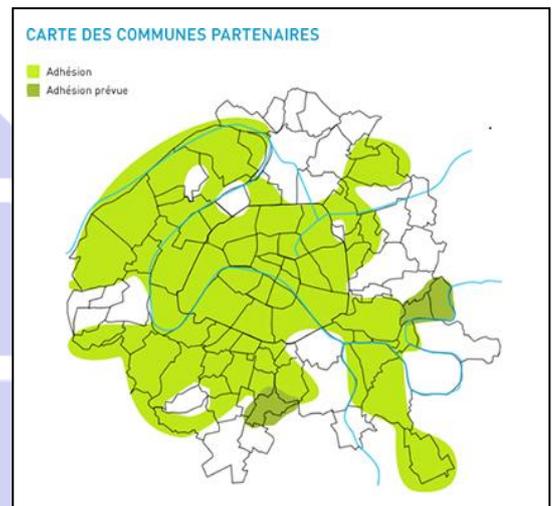
3. サービス概要

(1) 運営方法

参画自治体で構成する「オートリブ混成事務組合」から、ポロレグループに運営を委託。契約期間は 12 年。

(2) サービス提供地域

パリ市を含むイル・ド・フランス州内 46 自治体。



(3) 基本登録料・使用料等

登録のための基本料金はその期間によって 1 日 (10 ユーロ)、1 週間 (15 ユーロ)、1 年間 (144 ユーロ) の 3 種類。

車両の使用料は、登録期間により、最初の 30 分あたり 5~7 ユーロ。その他、別途 50 ユーロの保証金が必要。

なお、既に電気自動車を所有している場合、年間 180 ユーロ、自家用バイクの場合は年間 15 ユーロの基本料金を支払えば、ステーション等で自家用車の充電を行うことができる。

※ 1 ユーロ=約 100 円 (2011 年 12 月現在)

サービス提供地域 (パリ市は中心に位置)
(パリ市役所 HP より)

(4) 設備概要

- Station autolib' (オートリブ・ステーション)
車両の貸出、返却、搭載電池の充電が可能。
- Espace autolib' (エスパス・オートリブ)
ステーションの機能に加え、登録手続き用の端末を備え、説明スタッフが年中無休で、8 時から 20 時までの間対応。
- Centre d'accueil (オートリブ・サービスセンター)
パリ市内に 1 か所設置された情報センター。
説明スタッフが年中無休で、7 時から 22 時までの間対応。



ステーションに停車中の Bluecar
(車体の色は、Vélib'と同じグレー)

(5) 利用方法

利用者登録には、18 歳以上であることと、運転免許証、身分証明書及びクレジットカードが必要。利用者カードを入手するには、有人のエスパス・オートリブに備えられた専用端末のTV電話でオペレーターの指示に従って手続をする必要がある（事前登録のみインターネットでも可能）。専用端末での手続が完了すると利用者カードが発行される。

利用する際は、直接ステーションに出向き、利用者カードを貸出端末にかざせば車両を借りることが出来る。2012 年中には、インターネットで車両や返却場所の事前予約が可能となる見込み。

(6) 使用車両 (Bluecar) 概要

ボロレグループが開発した、リチウム・メタルポリマー電池を使用した 100%電気で稼働する自動車。約 4 時間の充電で、250 km 走行可能。最高速度は 130 km/h。全長 3.65m、2 ドア、座席 4 席。GPS 付きカーナビ搭載。

運転席にある青色のボタンを押すと、オペレーターに直接つながり、運転に関する質問をはじめ返却場所についての質問など、様々な助言が得られる。

また、このサービス提供エリアを超えそうな車には、センターから直接警告がされる。



オペレーターと直接話しができる青いボタン。運転中も決して一人ではない。

(7) 整備計画

- 2011 年 12 月運用開始時
 - ・ステーション・エスパス … 250 か所（うち、パリ市内 180 か所）
 - ・Bluecar … 250 台
- 2012 年夏まで
 - ・ステーション・エスパス … 約 1,100 か所
 - ・Bluecar … 約 2,000 台（最終的には 3,000 台まで整備予定）

4. Autolib'は成功するか

Vélib'のサービス開始から 4 年、その成功を受けてパリ市のイニシアティブで始まったこのサービス。競合すると思われる業界や環境活動家からの反対意見、またその採算性の懸念から、ドラノエ市政の中で最もコストのかかる「おもちゃ」⁴と揶揄する声もあります。

参加自治体は、ステーション 1 か所あたりの設置費用のうち 5 万ユーロを負担していま

す。ステーション設置のためのパリ市の負担は 2,500 万ユーロ。利用者からの登録料、使用料等の収益はボロレグループに入ることになっていますが、同グループは、導入に際し 2 億ユーロ⁵を投資、運営費用は年間 1 億ユーロが見込まれています。運営赤字が出た場合は、年間で 6,000 万ユーロまでボロレグループが負担、これを越えた場合は自治体側が負担することになっています。採算を取るためには、10 万人以上の登録者が必要⁶だと言われ、Vélib'でさえ現在の登録者数は 160,000 人であることから、その採算性に疑問の声がパリ市の野党議員からあがっています。これに対し、ボロレグループの社長は、8 万人の登録者が 1 週あたり 2 回 1 時間を超えて利用すれば、7 年で採算が取れると試算をしています。

また、競合するタクシー業界やレンタカー業界からは、公的支援の不平等との声も。その他、環境活動家からは、その導入目的に反し車の使用を逆に奨励するものだ、ステーションにバランス良く車を配置するためには人為的に車を移動する必要があるなどと、環境負荷に対する疑問の声もあるようです。

5. おわりに

パリ市の交通政策担当ルプチ助役は、Autolib'が市民の移動手段として定着するためには Vélib'より時間はかかるが必ず成功すると、その成功を確信しているようです。

12 月 5 日のサービス開始から 2 週間で、登録者の数は 6,000 人を越えたとのこと。ボロレグループの社長は、当初想定していた登録者数の 2 倍に近いとその数字に満足しているとコメントしています⁷。

このサービスは、エスパス等の常駐スタッフとして 1,000 人の若者を新たに雇用するなど若者の雇用対策の面でも一躍担っています。

しかしながら、事業の採算性の問題はもちろんのこと、今後は、イル・ド・フランス州内での参画自治体の拡大や、車両の計画的な配車方法、車両の盗難等、解決すべき課題もまだまだありそうです。

また、フランス国内でもナンシー市などいくつかの都市が、同様のサービスの導入に向けて検討を始めているとの話もあります。

Autolib'サービスはまだ始まったばかり。引き続き注目しつつ、今後ともレポートしていきたいと思います。

(参考) Autolib'公式ホームページ (仏語・英語) <http://www.autolib.eu/>

(小林所長補佐 東京都派遣)

¹ 「Autolib」は、フランス語の「automobile (自動車)」と、「libre (自由な)」という単語を組み合わせた混

成語。

- ² パリ市において 2007 年 7 月 15 日からスタートしたセルフサービスの貸し自転車制度。2011 年 6 月現在、ステーションの数は 1,800 か所まで拡大され、20,000 台の自転車が設置されている。2009 年以降は、パリ市周辺の 30 都市でも展開。160,000 人が年間会員に登録（2010 年 4 月時点）。サービスを開始してからの利用は、2011 年 6 月に 1 億件を超えた。

（参考） Vélib'に関する紹介記事（クレアパリ事務所 HP）

<http://www.clairparis.org/ja/news/2007/72-070808-01.html>

<http://www.clairparis.org/ja/news/2008/96-080718-01.html>

Vélib'を含むフランスの環境配慮型交通政策に関するクレアレポート（2009 年 1 月）

<http://www.clairparis.org/img/pdf/research/report/clairreport/clairreport335.pdf>

- ³ 1822 年にフランスのブルターニュ地方で製紙業から創業。現在では、交通、物流、エネルギー、コミュニケーション、メディア等の幅広い分野に進出する国際的複合企業。
- ⁴ 「L'Express」3150 号（2011 年 11 月 16-22 日）
- ⁵ 「Les Echos」（2011 年 11 月 5 日）。ポロレグループ社長は受託決定時に、6,000 万ユーロの投資を約束している。
- ⁶ 「Les Echos」（2011 年 11 月 2 日）によると 20 万人以上必要だとの試算もある。
- ⁷ 「Le Parisien」（2011 年 12 月 18 日）

